

# 桑都 ORI（織物・オリジナル）てぬぐい柄のデザインおよびパッケージ

## SOTO ORI (Jacquard weave/original) TENUGUI design and packaging

安西 夏緒

指導教員 李 盛姫

サレジオ工業高等専門学校 デザイン学科 ビジュアルコミュニケーション研究室

キーワード：桑都,八王子,織てぬぐい,パッケージ,日本遺産

### 1. 研究目的・動機

本研究室では昨年度より、八王子みやげをテーマに研究に取り組んでいる。本年度は学生 4 名が昨年に引き続き研究を行う。

今年度は Made in Hachioji を目指し、日本遺産である桑都物語の 30 構成文化財を題材に「桑都物語織てぬぐい」のブランディングを構築、てぬぐい柄とパッケージデザイン提案を行う。『桑の都』八王子の誇る伝統や歴史、文化などの魅力を市内外の人に届けることを目的とする。

### 2. 調査

#### (2-1) 日本遺産と桑都物語

日本遺産は地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを文化庁が認定する物で、「霊気満山高尾山 ～人々の祈りが紡ぐ桑都物語～」桑都物語は 2020 年に認定された。桑都物語は八王子市の有形・無形の文化財（計 30 件）によって構成されている。

#### (2-2) 織物

織物は経緯と緯糸の 2 種類の糸を織機で直角に組み合わせて作られており、生地が伸びにくく丈夫で型崩れがしにくいなどの特徴がある。八王子の織物は、糸を染めてから生地を作る「先染め」を多く取り入れている。

#### (2-3) パッケージ

近年 SDGs など、環境に配慮する考えが世界的に浸透してきており、日本でもレジ袋を有料にするなど着々と対策がとられている。包装のためのパッケージについても、分解することのできないプラスチック製ではなく分解できる紙製のものが

好まれる傾向にある。

#### (2-4) てぬぐい

てぬぐいの歴史には諸説あるが、平安時代から始まり江戸時代には庶民にも普及し始めたと言われている。また、その用途は幅広く、「拭う・包む・巻く」の他にも裁縫や目隠し、インテリアなど工夫次第で様々な用途で使用することができる。

### 3. 分析・考察

てぬぐいは布製品の中でも特に多くの活用方法があり、状況やニーズに合わせて使用することができるため年齢や性別など、人を選ばず贈り物としても適している。また、有名なスポーツ選手が手拭いを使用していたり、素材や柄の日本らしさからお土産としても人気であったりと、近年若い人や海外の観光客などから注目を集めている。そして、てぬぐいは実用性だけでなくデザイン柄も重要な要素であり、視覚的に八王子の文化を伝えることができる。

これらの分析に加え、八王子が江戸時代より養蚕・織物が盛んであったことから、多くの人に八王子の魅力を発言するためてぬぐいが非常に有用であると考えた。

### 4. コンセプトと提案内容

八王子の文化財「桑都物語」のストーリー性と、どんな人でも使用しやすいてぬぐいをコンセプトとする。

#### (4-1) 織てぬぐい柄

30 ある構成文化財の中から 9 つ（05・06・11・13・23・25・28・29・30）の文化財を担当

し、デザイン柄を提案した。文化財のストーリーや背景を意識し、音や温度感、味などの五感で感じられるようなデザインを意識して制作した。また、てぬぐいならではの大きさを活かした迫力のあるデザインも制作した。



図 1.提案柄

#### (4-2) ロゴタイプ

パッケージデザインを提案するうえでブランディング構築を行った。“桑都織てぬぐい”は今回提案する手拭いのブランド名で、「桑都のオリジナル(original)の手拭い」と「織物手拭い」の2つの意味が掛けられた Made in Hachioji てぬぐいを象徴する名である。てぬぐいをイメージした長方形の中に現在八王子織物組合アンテナショップ「ベネック」にて販売されている“桑都てぬぐい”をオマージュしたロゴタイプをデザインした(図2左)。また、八王子の人から人へと紡がれ受け継がれる文化を1本の糸(蚕の糸)で表現し、ローマ字表記と組み合わせた。キャッチコピーとして“「桑の都」八王子で受け継がれる養蚕・織物の物語”と合わせて使用する。



図 2.ロゴタイプとデザインエレメント

#### (4-3) デザインエレメント

パッケージデザインの装飾として4つの要素(八王子市・蚕・繭・桑の葉)を取り入れたエレメントをデザインしパッケージに組み込んだ(図2右)。

#### (4-4) パッケージデザイン

パッケージデザインをそれぞれのシチュエーションから2種類デザインした。てぬぐいが贈り物として多く購入されることから、デザインAは誰かに贈ることを想定し、メッセージを書き込んでそのまま郵便で送ることのできる形にした(図3左)。デザインBは説明を内側にするこゝで要素を減らし、シンプルで洗礼されたデザインにした。てぬぐいを直接見て触ることができ、まとまった高級のある感デザインにした(図3右)。



図 3.パッケージデザイン A・B

## 5. 参考文献

- [1]日本遺産ポータルサイト (閲覧日: 2023.9.17)  
<https://japan-heritage.bunka.go.jp>
- [2]桑都物語公式ポータルサイト (閲覧日: 2023.9.17)  
<https://japan-heritage-soto.jp>
- [3]八王子市公式ホームページ(閲覧日:2023.9.11)  
<https://www.city.hachioji.tokyo.jp>
- [4]大昭和紙工産業株式会社 (閲覧日: 2023.7.3)  
<https://www.daishowasiko.com>